

2018ふくやま 人権・平和フェスタ

「第70回人権週間記念の集い」『平和で差別のない未来へ』 ～今、私たちができること PartⅢ～

2018年12月9日（日）福山市人権交流センターにおいて、2018ふくやま 人権・平和フェスタ「第70回人権週間記念の集い」 平和で差別のない未来へ～今、私たちができること PartⅢ～を開催しました。

昨年に続き、若者たちが未来に希望を持てるまちづくりをめざして、また世代を越えてつながり合えるまちづくりや人権について理解を深めることをテーマに、午前・午後とステージ発表が行われました。今年は、近畿大学附属広島高等学校・中学校福山校の演劇部のみなさんに初めて発表していただいたり、新たな企画として、“ギネスの記録に挑戦”と題して参加者全員が5分以内におりづるを何羽おれるかを挑戦するなど、例年以上に若い人たちでにぎやかなフェスタになりました。また、来場された方へポスターデザインを使用したクリアファイルの配布や、ロビー内で核廃絶署名活動なども行いました。

近畿大学附属広島高等学校・中学校福山校の演劇部が劇「赤ずきんとオオカミ」を披露してくれました。



高校生平和大使



ふくやまピース・ラボ



福山工業高校 VR 体験



ステージ上で抽選を行いました。

盛進中学高等学校



おいづるチャレンジ!
～ギネスの記録に挑戦～

うまく折れたかな?

73名の参加者が、制限時間5分で一所懸命折ったところ、145羽のおりづるができました！
(次回は、本当のギネスに挑戦したいと思います！)

“人権文化を考える～幸せを運ぶ人形たち”



お話：辻本一英さん
(芝浦生活文化研究所代表)



阿波木偶箱まわし保存会による「人形実演」



終了後、出入口付近で来館者に「幸せがおとずれますように」と握手をしていただきました。

ふくやま人権大学の協力により、辻本一英さん（芝浦生活文化研究所代表）のお話と阿波木偶箱まわし保存会の方々による人形実演をしていただきました。「人権文化を考える」をテーマにしたお話と、迫力ある人形実演に会場から大きな拍手が響き渡りました。

フェスタに参加して…（アンケートより）

★高校生平和大使の報告については、新聞等の報道で幾らか知っていましたが、現役の高校生の話を聞き、更に応援する気になりました。若者の活動に大人たちはもっともっと現実を見て、努力しなくてはと思います。地域に帰ってこの事を会合のときに時間をいただき伝えたい、伝えるべきと思います。

★近畿大学附属広島高等学校・中学校福山校の「赤ずきんとオオカミ」という劇が差別などについて考えさせられる物語だったと思います。「おりづるチャレンジ！」などのみんなで楽しめるコーナーもあって良かったと思います。

★箱まわして、私は箱をまわすのかなと思っていたのですが、人形のことだと知ってびっくりしました。歌がすごかったです。人形ってたぶん重いと思うのですが、いろいろ動いていてすごいなと思いました。

★署名活動、募金活動、パネル展示（性について、芦について等）、手づくりの品の販売、VR制作についての発表のコーナー・ステージをそれぞれ拝見しました。スタッフの方から声をかけていただくことが多くあり、皆で協力して盛り上げようとする感じを強く受けました。

ロビー展示

ロビーにおいて、中学生や高校生、市民活動団体などの素晴らしい活動の数々を展示し会場がにぎやかになりました。



食事コーナー

屋外では、食事コーナーがあり、焼うどん、おでん、豚汁&おにぎり、山菜おこわなどの販売があり、「おいしかった」の声がたくさんありました。



ご来場・ご協力ありがとうございました。